

## 湊川短期大学

### 「子どもたちに運動の楽しさを伝えるお仕事 ~湊川の卒業生~」

幼児教育保育学科の卒業生坂東篤さんは2011年3月卒業後、幼少年サッカー・体操・体育遊び指導を経験し、今年の4月にバンボーキッズスクールという体操教室を開講されました。起業することに至った経緯についてお話を伺いました。

短期大学1年目のとき、サッカースクールのボランティア活動に携わったことをきっかけに、夢が保育士になることからサッカーの指導者になり、さらに様々な経験をする内に、「三田市の子どもたちの運動能力を向上させたい!」と夢が膨らみ、バンボーキッズスクールを立ち上げ、子どもたちの成長をサポートしています。

#### 「大学で学んだことはお仕事に役に立っていますか。」

勉強した知識はもちろんのこと、先生方が学生一人一人に向き合う丁寧な教育と指導して下さったことは印象に残り、今の仕事にも役に立っています。「その当時に関わって頂いた先生方がいなければ現在の仕事をしているか分かりません。それだけ湊川短期大学時代に素晴らしい先生方に育てて頂いたことが今の自分を形成できた一つの要因だと思っています。」と話されておりました。



【みな・とっちひろば 親子で運動遊びを指導している様子】  
バンボーキッズスクール: <https://banbo-kids-school.com>

### 三田松聖高等学校「勝って楽しみたい」アーチェリー部・岡田凱斗さん(2年)



アーチェリー部8期生となる岡田さんが、今夏に全国高校総体(男子個人70m)への初出場を果たした。兵庫県下の高校で同部があるのは14校(私立:9 公立:5)。「珍しかったから」という理由で入部した。幼稚園から小2まで空手、その後バスケットボールに転向し、中学に入ってから野球部をあまり楽しなかったが3年間続けた。

アーチェリーは、的を正確に射抜くために弓の調整をすることや、風速による矢の軌道予測、射る姿勢の工夫等を論理的に考える力が必要な競技だ。うまくいかないのは、自分のせいかわのせい。彼はそれを自分で冷静に分析する修正力がある。加えて、幼い頃からスポーツで鍛えてきたブレない体幹に恵まれている。コツコツと練習を繰り返す、これまで県大会、近畿大会で合計4つの銀メダルを獲得した。

「全国が決まった瞬間、これからもっと楽しくなるな、とわくわくしました。本来の実力をフルに出せたら入賞できるかもしれないと思ったのですが、いつもの余裕がなかった」と悔しさをにじませた。

来月から始まる新人戦に向けて、「勝って楽しみたい。次はまだ手にしていない金メダルを取りたい」と闘志を燃やしている。



### 湊川短期大学附属ぼるとこども園「おつきみ会をしました」

今年の十五夜は9月10日だそうです。ぼるとこども園ではひと足早く7日におつきみ会をしました。保育士のスケッチブックシアターや絵本を見た後は小麦粉粘土でお団子作りに挑戦。

大小、形も色々な団子ができました。すすきとお団子を飾り、室内はすっかり秋の装いになりました。

こうして少しずつでも日本ならではの行事や季節の移り変わりを感じることが出来る体験を大切にしていきたいと思います。

